

【株式会社東部建設】

1974年1月10日の会社設立以来47年社長を務めてきた岡山政憲社長が勇退して会長となり、後任として青森作業所長の岡山伸泰が6月25日より社長に就任となりました。社長は交代となりましたが、引き続き東部建設全員が一丸となって、安全最優先で施工品質の良い成果物を発注者に提供し、安全安定輸送に貢献できるよう努力して参ります。



岡山社長



《トピックス》

○安全大会

2021年7月26日に安全大会を開催しました。午前野辺地町まかど観光ホテルにて座学を、午後青い森鉄道線野辺地駅構内上材料線において実設訓練を実施しました。実設訓練は昨年までは線路がない中で行っておりましたが、今年は線路があるところで実施することにより、線路立入り時のケジメ・退出時のケジメでは緊張感のある訓練となりました。また、青い森鉄道から許可を得て、軌陸BHを実際に載線して異常時脱出訓練を実施しました。油圧を解除し、実際に押してみる等、特に誘導員に従事する従業員も、体験することで知識を高めることができました。

○橋マクラギ交換(橋マクラギ山越器使用)



8/24ヨ～28ヨ 青い森鉄道線 浅虫温泉駅～野内駅間(下線) 根井川橋梁にて、橋マクラギ交換(全90本)を実施しました。交換には「橋マクラギ山越器」を初めて使用しました。また、重量物を人力で取り扱うことを極力避けるために、軌陸BH1台と3t口2両を活用し、労力軽減にも努めました。1日の作業の流れとしては、軌陸BHと3t口2両を野内駅下り材料線で載線し、(新)橋マクラギを軌陸BHで3t口に積込み、下線線閉着手後に横取りを介して現場まで運搬、現場到着後は軌陸BHから3t口を切り離し、人力にて作業箇所へ小運搬しました。その後は橋マクラギ山越器を使用して撤去した旧マクラギを軽便トク及び空車になった3t口に積込み、3t口に積載の(新)橋マクラギを挿入という流れで、撤去から挿入までを1時間30分で終了できました。その後の締結等の軌道整備に多少時間は要したものの、線路閉鎖時間内に効率よく、また従事員に重量物を取り扱う負担をかけることなく、当初の予定通りの日程で計画通りに作業が終了できました。



○鉄マクラギ交換(機械作業)

JR貨物発注で施工している、並マクラギから鉄マクラギへの交換作業(東青森駅構内)について、昨年度から交換本数が例年の3倍(約600本)となっており、今までのような人力施工では他の作業に影響がでることから、当社で初めてとなる軌陸BH2台編成(グリッパー、4TT)で施工することとしました。鉄マクラギは構造上、中が空洞であるため、グリッパーでつかんだ際につぶれないか懸念しておりましたが、つぶれることなく無事に施工できました。今年も軌陸BH2台編成(グリッパー、4TT)で施工を計画し、交換本数553本の内、交換数量が多い上3番線(407本)と仕訳8番線(70本)の一部を機械で実施することとしました。昨年は苦情が比較的少ないこともあり、すべて夜間作業でできましたが、今年は連日同じ方からの苦情が絶えず、断腸の思いで昼施工へ変更しました。しかし、夜間作業以上の施工実績で計画箇所の施工を終えることができました。残りの交換については人力施工となりますが、今冬の除雪発注がない場合の作業としております。



《職場のホープ紹介》

今回紹介するのは、青森作業所の2名です。

○佐々木 拳人(ささき けん)23歳

昨年11月に入社し、無事に1年が経過しました。動きが機敏で見違えるほど成長しているのを実感しております。今年度は列車見張員の資格を取得し、11月にはBHの誘導員デビューも果たしました。これからの益々の活躍に期待しております。《鉄道経験》1年1カ月
《抱負》安全作業で無事故に努める!
《特技》野球《趣味》釣り《夢》新車を買う



○川井 善史(かわい よしふみ)23歳

今年4月に入社した、当社唯一の新卒者です。鉄道が好きで志望動機も鉄道に関わる仕事をしたいとのこと。社会人1年目ではありますが、好奇心があるため物覚えも早く、自分で仕事を探したり、わからないことは積極的に先輩社員に聞いたりして一生懸命に仕事を覚えようと努力しています。これから迎える厳冬期を乗り越え、さらなる成長に期待しております。《鉄道経験》0年9か月《抱負》基本ルールを愚直に遵守!《特技》水泳《趣味》鉄道旅《夢》日本の鉄道全制覇!

